

プライベートクラウドの未来

パブリッククラウドの一見すると低価格で、災害復旧オプションがあり、大々的に宣伝したセキュリティや高可用性の誇示による人気が高まったことで、プライベートクラウドが終焉するのではないかと考える人も出てきています。

しかし、実際にはプライベートクラウドが将来の主流になるとわれています。

意外かもしれませんが、パブリッククラウドとそれが誇る機能は、プライベートクラウドを押し退けるものではありません。むしろ、プライベートクラウドの実現可能性と重要性を高めているのです。

パブリッククラウドがプライベートクラウドを良くし、プライベートクラウド展開を活用する組織は、そのメリットを享受しています。

プライベート管理のメリット

プライベートクラウドプロバイダーは、ホスティングオプションのメリットとして、セキュリティ、可用性、災害復旧のみに頼ることはできないと理解しています。これらの分野では、かつてプライベートクラウドが有利でしたが、現在ではパブリッククラウドが進歩し、多くのパブリッククラウドが同等の立場に立っています。

そのため、プライベートクラウドのプロバイダーは、市場にとどまるために技術革新と改善を余儀なくされています。そうすることで、かれらの得意分野を見つけました。

ハイランドクラウドのようなプライベートクラウドは、「管理された」クラウドだというメリットを備えています。これらには重要な違いがあります。製品の専門家、あるいはプラットフォームの背後にいる人々によって管理されているという重要な特徴があります。このような専門家による管理により、組織はソリューションのインフラストラクチャの監視、アップグレード、パッチ適用、調達、トラブルシューティング、管理などに多くの技術リソースを割く必要がありません。

同時に、組織はセキュリティ、可用性、災害復旧に特化したチームを得ることができます。情報システムの人員が不足し、IT 部門がより少ない人材でより多くのことを行うことが求められている現在、これは大きなメリットです。

アップグレードエクスペリエンスの強化

特にエンタープライズアプリケーションのアップグレードは、どの組織にとっても大きな負担になります。

この分野では、ハイランドクラウドのようなプライベートクラウドがパブリッククラウドよりも価値を発揮します。一部の人気の高いパブリッククラウドでは、アップグレードに伴う作業をすべてお客様の責任で行います。これには、新しいマシンの調達、新しいソフトウェアバージョンのインストールやアップグレード、現在のインフラストラクチャへのパッチ適用などが含まれます。組織は、ハイランドグローバルクラウドサービスがお客様のために実行する作業を、数百人分の時間を費やして行う可能性があります。

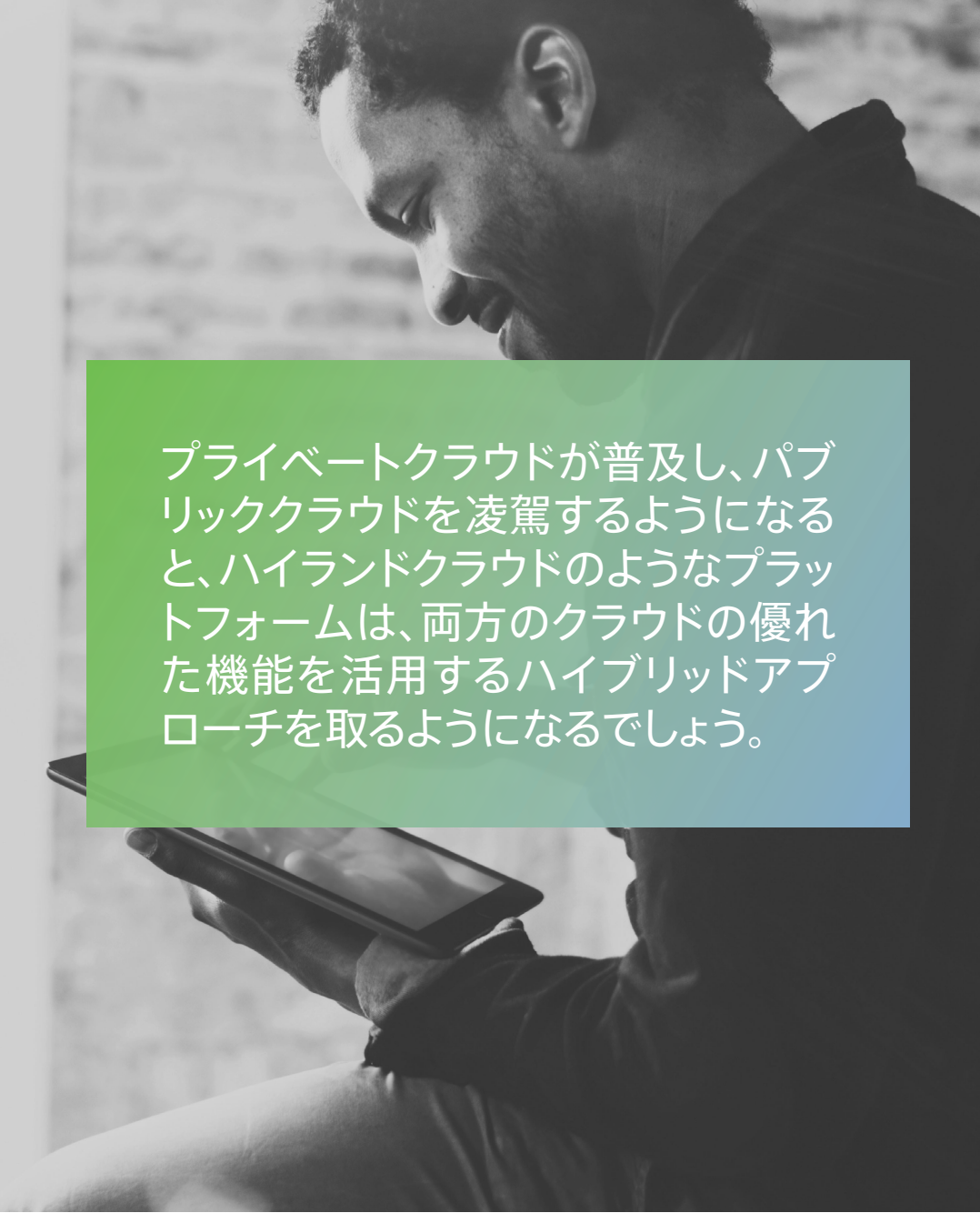
この要因は、テスト環境の更新や新しいアドオンソリューションコンポーネントのインストールといった類似の作業にも及んでいます。ハイランドクラウドを利用する多くのお客様にとって、こうした作業を単独で行う必要がないことは、大きな投資対効果をもたらします。

未来に向けたプライベートプラットフォーム

プライベートクラウドの未来は、非常に明るいといえます。アプリケーションの需要が日に日に高まり、組織はタブレットや携帯電話などの複数のプラットフォームだけでなく、マイクロサービスやコンテナ化への対応も求めています。



Hyland™



プライベートクラウドが普及し、パブリッククラウドを凌駕するようになると、ハイランドクラウドのようなプラットフォームは、両方のクラウドの優れた機能を活用するハイブリッドアプローチを取るようになるでしょう。

こうした需要に応えるため、ソフトウェアベンダーは独自のプライベートクラウドの提供を検討しています。プライベートクラウドの利用では、ベンダーがこれらの新しいテクノロジーのサポートを制御できるようになります。同時に、継続的な配信モデルを実現し、機能強化や新機能を可能な限り迅速に消費者に届けることができます。

ハイランドは、コンテンツサービスをクラウドで提供するパイオニアとして、長年にわたりプライベートクラウド市場に参入しており、急成長する最新技術をいち早く取り入れています。マイクロサービス、ダイナミックプラットフォームのサポート、SaaS サービスの追加を採用する中で、ハイランドクラウドを利用するお客様は、これらの強化や新機能のメリットを得て、最先端に行くことができます。

さらに、ハイランドクラウドには、アプリケーションレイヤにまで拡張されたコンプライアンスサポート、24時間年中無休の監視と組み込まれたインシデント管理、クラウドアプリケーションをサポートする130人以上の専門家チーム、情報管理に特化したアーキテクチャなど、パブリッククラウドにはない、あるいは追加コストで提供されるすべての機能が含まれています。

パブリッククラウドプロバイダーは未来を形作る上で、今でも重要な役割を担っています。セキュリティ、柔軟性、迅速な展開、高可用性、災害復旧に関して、今後もハードルを上げていくでしょう。

両方のクラウドのメリット

プライベートクラウドが普及し、パブリッククラウドを凌駕するようになると、ハイランドクラウドのようなプラットフォームは、両方のクラウドの優れた機能を活用するハイブリッドアプローチを取るようになるでしょう。こうした互助関係により、両方のクラウドがビジネスに利用され続ける一方で、プライベートクラウドは、パブリッククラウドでは不可能な専門的サービスを提供することで発展していくでしょう。

パブリッククラウドは、プライベートクラウドの衰退を招いているわけではなく、むしろプライベートクラウドを活性化させています。プライベートクラウドとパブリッククラウドが連携することで、それぞれをより良くすることができます。これは、クラウドの力を活用しようとしている企業にとって有益なことです。

詳細は Hyland.com/Cloud をご確認ください。

Hyland™